

がくしゅうしつ

学習室

みなとみらい

ほんちようしょうがっこうこうりゅうかい

本町

交流会

4月26日（金）は中区個別級小中合同遠足が予定されていましたが、悪天候のため今年度もみなとみらい本町小学校と交流会を行いました。この会では、新しく学習室のメンバーとなった新1年生を、互いに紹介し合いました。また、昨年と同様に今までのメンバーは再会を喜び、みんなと仲良く交流をしました。体育館でダンスやパラバルーンで遊んだり、自由時間にはパズルやトランポリンを楽しんだりしました。お昼は、教室でのお弁当となりましたが、終始笑顔が絶えず、素敵な時間を過ごすことができました。これからも、みなとみらい本町小学校との絆を大切にしていきます。



こくさいきょうしつ

国際教室

いらっしやいの会

かい

5月18日（土）に「いらっしやいの会」がありました。今年度は、10名の新しい仲間が国際教室に入り、30名でスタートをきりました。最初は緊張した様子で自己紹介をしましたが、2年生から折り紙で作ったメダルをプレゼントされると笑顔になりました。また、当日は多くの保護者が参観に来てくださいました。「おうちの方も参加してください。」という子どもの声から、保護者も一緒にゲームをして、みんなで楽しい時間を過ごしました。違う学年、違う出身国の子どもたちが集まる国際教室では今年度もつながりを大切にしていきます。



ねんせい
6年生

でまえじゅぎょう
ユニセフ出前授業

～自分ができるところをかんがえよう～



10日（金）ユニセフの方に来ていただき、発展途上国のこと、途上国にいる子どもたちのこと、ユニセフの活動について教えていただきました。世界には、毎日水を汲みに行くだけの1日を過ごしている子もいるという話を聞き、実際に水がめに水が入ったものを持ちあげ、体育館の端から端まで歩く体験をしました。ほんの少しの距離ですが、その大変さを実感し、それを毎日行っていると思うと、蛇口をひねれば簡単に水がでることの有り難さを感じている子もいました。

写真を通して自分たちと同じ年くらいの人が学校に通えない、満足に食事がとれない、兵士として戦場に出て戦っているといった現状を知り、自分たちが学べること、遊べることがどれだけ幸せなことか考えているようでした。

国語の学習「未来がよりよくあるために」では、ユニセフの方の話や自分が調べてみたいことをもとに「平和のために、自分ができるところ」について意見文を書きました。自分の思いや考えをいろいろな見方で捉えてほしいと思います。